

大学進学コース 授業シラバス

科目名	中級日本語 I			担当講師			
実施期間	前期	学年	1年	曜日時限		時間数	80
授業内容と方法							
<p>コミュニケーション能力を高めるための基礎的な語彙・文法を学ぶ。 また、聴解や作文を通して演習も行う。 授業は講義形式で行われるが、適宜、グループワークや発表などの活動を取り入れる。</p>							
到達目標							
<p>(1) コミュニケーションに必要な文法を習得する。 (2) コミュニケーション能力の基礎となる表現を身につける。</p>							
評価基準と評価方法							
<p>(1) 定期試験(50%) (2) 課題(30%) (3) 授業への参加度・積極性(20%)</p>							
授業計画							
<p>第1回：比較 第2回：様子・類似 第3回：程度・変化 第4回：会話表現(考えを言う) 第5回：対比・逆接 第6回：伝聞 第7回：会話表現(願望・希望) 第8回：定期試験 第9回：時 第10回：様子・推測 第11回：予想・期待 第12回：会話表現(頼む) 第13回：原因・理由(1) 第14回：原因・理由(2) 第15回：会話表現(誘う・受ける／断る) 第16回：長文読解 第17回：定期試験</p>							
使用テキスト							
『ニューアプローチ 中級日本語[基礎編]』 語文研究社							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	日本語表現法 I			担当講師			
実施期間	前期	学年	1年	曜日時限		時間数	80
授業内容と方法							
日本語の表記方法や表現について授業を行う。 授業は講義形式で行われるが、適宜、グループワークや発表などの活動を取り入れる。							
到達目標							
(1)幅広い場面で使われる日本語を理解することができる。 (2)日本語の語彙を豊かにする。							
評価基準と評価方法							
(1)定期試験(50%) (2)課題(30%) (3)授業への参加度・積極性(20%)							
授業計画							
第1回：漢字 第1～7回 語彙 人間 第2回：漢字 第8～14回 語彙 生活 第3回：漢字 第15～22回 語彙 趣味・娯楽と旅行 第4回：漢字 第23～30回 語彙 教育と仕事 第5回：漢字 総合問題 語彙 メディアと会社 第6回：漢字 チャレンジ 語彙 科学と抽象概念 第7回：定期試験 第8回：漢字 第31～36回 語彙 意味がたくさんある言葉 第9回：漢字 第37～41回 語彙 意味が似ている言葉 第10回：漢字 チャレンジ 語彙 形が似ている言葉 第11回：漢字 第42～47回 語彙 副詞 第12回：漢字 第48～53回 語彙 オノマトペ 第13回：漢字 総合問題 語彙 慣用表現 第14回：漢字 チャレンジ 語彙 語形成 第15回：模擬試験 第16回：フィードバック 第17回：定期試験							
使用テキスト							
『新完全マスター漢字 日本語能力試験 N2』スリーエーネットワーク 『新完全マスター語彙 日本語能力試験 N2』スリーエーネットワーク							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	日本語のしくみ I			担当講師			
実施期間	前期	学年	1年	曜日時限		時間数	80
授業内容と方法							
現代日本語共通語における日本語の文法について考える。 授業は講義と演習形式で行われるが、適宜、グループワークや発表などの活動を取り入れる。							
到達目標							
(1)幅広い場面で使われる日本語を理解することができる。 (2)日本語の四技能の向上。							
評価基準と評価方法							
(1)定期試験(50%) (2)課題(30%) (3)授業への参加度・積極性(20%)							
授業計画							
第1回：ことがらを説明する 1課 聴解 音声の特徴に慣れる							
第2回：2課 聴解 「即時応答」のスキルを学ぶ(1)							
第3回：3課 聴解 「即時応答」のスキルを学ぶ(2)							
第4回：4課 聴解 「課題理解」のスキルを学ぶ(1)							
第5回：5課と問題							
第6回：定期試験							
第7回：6課 聴解 「課題理解」のスキルを学ぶ(2)							
第8回：7課 聴解 「ポイント理解」のスキルを学ぶ(1)							
第9回：8課 聴解 「ポイント理解」のスキルを学ぶ(2)							
第10回：9課 聴解 「概要理解」のスキルを学ぶ(1)							
第11回：10課と問題							
第12回：主観を含めて説明する 11課 聴解 「概要理解」のスキルを学ぶ(2)							
第13回：12課 聴解 「統合理解」のスキルを学ぶ(1)							
第14回：13課 聴解 「統合理解」のスキルを学ぶ(2)							
第15回：14課							
第16回：15課と問題							
第17回：定期試験							
使用テキスト							
『新完全マスター文法 日本語能力試験 N2』スリーエーネットワーク 『新完全マスター聴解 日本語能力試験 N2』スリーエーネットワーク							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	日本語講読 I			担当講師			
実施期間	前期	学年	1 年	曜日時限		時間数	80
授業内容と方法							
日本語能力試験 N2 の合格を目指す。 授業は講義と演習形式で行われるが、適宜、グループワークや発表などの活動を取り入れる。							
到達目標							
(1)幅広い場面で使われる日本語を理解することができる。 (2)論旨が明快な文を読んで、その内容を理解することができる。 (3)一般的な話題に関する読み物を読んで、話の流れや表現意図を理解することができる。							
評価基準と評価方法							
(1)定期試験(50%) (2)課題(30%) (3)授業への参加度・積極性(20%)							
授業計画							
第 1 回：ウォーミングアップ①～③ 第 2 回：ウォーミングアップ④～⑥ 第 3 回：練習問題(1) 第 4 回：練習問題(2) 第 5 回：練習問題(3) 第 6 回：練習問題(4) 第 7 回：練習問題(5) 第 8 回：定期試験 第 9 回：練習問題(6) 第 10 回：練習問題(7) 第 11 回：練習問題(8) 第 12 回：練習問題(9) 第 13 回：練習問題(10) 第 14 回：ウォーミングアップ 第 15 回：練習問題(1) 第 16 回：練習問題(2) 第 17 回：定期試験							
使用テキスト							
『必ずできる！JLPT「読解」N2』アルク							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	中級日本語Ⅱ			担当講師		
実施期間	後期	学年	1年	曜日時限		時間数 80
授業内容と方法						
<p>コミュニケーション能力を高めるための基礎的な語彙・文法を学ぶ。 また、聴解や作文を通して演習も行う。 授業は講義形式で行われるが、適宜、グループワークや発表などの活動を取り入れる。</p>						
到達目標						
<p>(1)コミュニケーションに必要な文法を習得する。 (2)コミュニケーション能力の基礎となる表現を身につける。</p>						
評価基準と評価方法						
<p>(1)定期試験(50%) (2)課題(30%) (3)授業への参加度・積極性(20%)</p>						
授業計画						
<p>第1回：比較 第2回：様子・類似 第3回：程度・変化 第4回：会話表現(申し出る・感謝する) 第5回：対比・逆接 第6回：伝聞 第7回：会話表現(伝言を頼む・伝える) 第8回：定期試験 第9回：時 第10回：様子・推測 第11回：予想・期待 第12回：会話表現(許可を求める・応じる／断る) 第13回：原因・理由 第14回：説明・結論 第15回：会話表現(提案・助言) 第16回：長文読解 第17回：定期試験</p>						
使用テキスト						
『ニューアプローチ 中級日本語[基礎編]』語文研究社						
使用言語						
日本語						

大学進学コース 授業シラバス

科目名	日本語表現法Ⅱ			担当講師			
実施期間	後期	学年	1年	曜日時限		時間数	80
授業内容と方法							
日本語の表記方法や表現について授業を行う。 授業は講義形式で行われるが、適宜、グループワークや発表などの活動を取り入れる。							
到達目標							
(1)幅広い場面で使われる日本語を理解することができる。 (2)日本語の語彙を豊かにする。							
評価基準と評価方法							
(1)定期試験(50%) (2)課題(30%) (3)授業への参加度・積極性(20%)							
授業計画							
第1回：漢字・語彙 第1週 第2回：漢字・語彙 第2週 第3回：漢字・語彙 第3週 第4回：まとめ 第5回：漢字・語彙 第4週 第6回：漢字・語彙 第5週 第7回：漢字・語彙 第6週 第8回：まとめ 第9回：定期試験 第10回：漢字・語彙 第7週 第11回：漢字・語彙 第8週 第12回：漢字・語彙 第9週 第13回：まとめ 第14回：総まとめ 第15回：復習 第16回：復習 第17回：定期試験							
使用テキスト							
『45日間で合格レベルへ！日本語能力試験対策 N2 漢字・語彙』三修社							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	日本語のしくみⅡ			担当講師			
実施期間	後期	学年	1年	曜日時限		時間数	80
授業内容と方法							
現代日本語共通語における日本語の文法について考える。 授業は講義と演習形式で行われるが、適宜、グループワークや発表などの活動を取り入れる。							
到達目標							
(1)幅広い場面で使われる日本語を理解することができる。 (2)日本語の四技能の向上。							
評価基準と評価方法							
(1)定期試験(50%) (2)課題(30%) (3)授業への参加度・積極性(20%)							
授業計画							
第1回：16課 聴解 課題理解(1) 第2回：17課 聴解 課題理解(2) 第3回：18課 聴解 ポイント理解(1) 第4回：19課 聴解 ポイント理解(2) 第5回：20課 聴解 概要理解(1) 第6回：定期試験 第7回：主観を述べる 21課 聴解 概要理解(2) 第8回：22課 聴解 即時応答(1) 第9回：23課 聴解 即時応答(2) 第10回：24課 聴解 統合理解(1) 第11回：25課と問題 第12回：文法形式の整理 統合理解(2) 第13回：文の文法 第14回：文章の文法(1) 第15回：文章の文法(2) 第16回：文章の文法(3) 第17回：定期試験							
使用テキスト							
『新完全マスター文法 日本語能力試験 N2』スリーエーネットワーク 『日本語能力試験問題集 N2 聴解スピードマスター』Jリサーチ出版							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	日本語講読Ⅱ			担当講師			
実施期間	後期	学年	1年	曜日時限		時間数	80
授業内容と方法							
日本語能力試験 N2 の合格を目指す。 授業は講義と演習形式で行われるが、適宜、グループワークや発表などの活動を取り入れる。							
到達目標							
(1)幅広い場面で使われる日本語を理解することができる。 (2)論旨が明快な文を読んで、その内容を理解することができる。 (3)一般的な話題に関する読み物を読んで、話の流れや表現意図を理解することができる。							
評価基準と評価方法							
(1)定期試験(50%) (2)課題(30%) (3)授業への参加度・積極性(20%)							
授業計画							
第1回：練習問題(3) 第2回：練習問題(4) 第3回：練習問題(5) 第4回：練習問題(6) 第5回：ウォーミングアップ 第6回：練習問題(1) 第7回：練習問題(2) 第8回：定期試験 第9回：練習問題(3) 第10回：練習問題(4) 第11回：練習問題(5) 第12回：練習問題(6) 第13回：日本語能力試験模擬試験 第14回：フィードバック 第15回：日本語能力試験模擬試験 第16回：フィードバック 第17回：定期試験							
使用テキスト							
『必ずできる！JLPT「読解」N2』アルク							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	検定対策 I			担当講師			
実施期間	前期	学年	1年	曜日時限		時間数	60
授業内容と方法							
日本語能力試験 N2 の合格を目指す。 授業は講義形式で行われるが、適宜、グループワークや発表などの活動を取り入れる。							
到達目標							
(1)幅広い場面で使われる日本語を理解することができる。							
評価基準と評価方法							
(1)定期試験(50%) (2)課題(30%) (3)授業への参加度・積極性(20%)							
授業計画							
第1回：文字・語彙 漢字読みと表記・語形成							
第2回：文字・語彙 文脈規定と言い換え類義・用法							
第3回：文法 文の文法と文章の文法							
第4回：読解 内容理解(短文)							
第5回：読解 内容理解(中文)							
第6回：読解 統合理解							
第7回：読解 主張理解(長文)							
第8回：読解 情報検索							
第9回：定期試験							
第10回：聴解 課題理解							
第11回：聴解 ポイント理解							
第12回：聴解 概要理解							
第13回：聴解 即時応答							
第14回：聴解 統合理解							
第15回：模擬試験							
第16回：フィードバック							
第17回：定期試験							
使用テキスト							
『ゼットイ合格！ 日本語能力試験総合テキスト N2』Jリサーチ出版							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	検定対策 I			担当講師			
実施期間	前期	学年	1年	曜日時限		時間数	40
授業内容と方法							
日本語能力試験 N2 の合格を目指す。 授業は講義形式で行われるが、適宜、グループワークや発表などの活動を取り入れる。							
到達目標							
(1)幅広い場面で使われる日本語を理解することができる。							
評価基準と評価方法							
(1)定期試験(50%) (2)課題(30%) (3)授業への参加度・積極性(20%)							
授業計画							
第1回：文字・語彙 漢字読みと表記・語形成 第2回：文字・語彙 文脈規定と言い換え類義・用法 第3回：文法 文の文法と文章の文法 第4回：読解 内容理解(短文) 第5回：読解 内容理解(中文) 第6回：読解 統合理解 第7回：読解 主張理解(長文) 第8回：読解 情報検索 第9回：定期試験 第10回：聴解 課題理解 第11回：聴解 ポイント理解 第12回：聴解 概要理解 第13回：聴解 即時応答 第14回：聴解 統合理解 第15回：模擬試験 第16回：フィードバック 第17回：定期試験							
使用テキスト							
『ゼットイ合格！ 日本語能力試験総合テキスト N2』Jリサーチ出版							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	検定対策Ⅱ			担当講師			
実施期間	後期	学年	1年	曜日時限		時間数	60
授業内容と方法							
日本語能力試験 N2 の合格を目指す。 授業は演習形式で行う。							
到達目標							
(1)幅広い場面で使われる日本語を理解することができる。							
評価基準と評価方法							
(1)定期試験(50%) (2)課題(30%) (3)授業への参加度・積極性(20%)							
授業計画							
第1回：文字・語彙(1) 第2回：文字・語彙(2) 第3回：文法(1) 第4回：文法(2) 第5回：読解(1) 第6回：読解(2) 第7回：聴解(1) 第8回：聴解(2) 第9回：定期試験 第10回：復習 第11回：日本語能力試験模擬試験 第12回：フィードバック 第13回：日本語能力試験模擬試験 第14回：フィードバック 第15回：日本語能力試験模擬試験 第16回：フィードバック 第17回：定期試験							
使用テキスト							
『一発合格！ 日本語能力試験 N2 完全攻略テキスト & 実践問題集』 ナツメ社							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	英語基礎			担当講師			
実施期間	前期	学年	1・2年	曜日時限		時間数	20
授業内容と方法							
コミュニケーションツールとして国際社会に必要な英語を習得する。							
到達目標							
(1)大学において必要な英語力を身につける。							
評価基準と評価方法							
(1)定期試験(50%)							
(2)課題(30%)							
(3)授業への参加度・積極性(20%)							
授業計画							
第1回：Roommates							
第2回：Checking Out							
第3回：Get in Shape							
第4回：Money Management							
第5回：Close Ties							
第6回：Time to Celebrate							
第7回：Animals in Danger							
第8回：Review							
第9回：定期試験							
第10回：A Fine Art							
第11回：Tune In							
第12回：Music to Our Ears							
第13回：Study Abroad							
第14回：Technology and You							
第15回：Right and Wrong							
第16回：Your Career Starts Now							
第17回：定期試験							
使用テキスト							
『New Connection<Book2>』 SEIBIDO							
使用言語							
英語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	英語基礎			担当講師			
実施期間	前期	学年	1・2年	曜日時限		時間数	60
授業内容と方法							
コミュニケーションツールとして国際社会に必要な英語を習得する。							
到達目標							
(1)大学において必要な英語力を身につける。							
評価基準と評価方法							
(1)定期試験(50%)							
(2)課題(30%)							
(3)授業への参加度・積極性(20%)							
授業計画							
第1回：Roommates							
第2回：Checking Out							
第3回：Get in Shape							
第4回：Money Management							
第5回：Close Ties							
第6回：Time to Celebrate							
第7回：Animals in Danger							
第8回：Review							
第9回：定期試験							
第10回：A Fine Art							
第11回：Tune In							
第12回：Music to Our Ears							
第13回：Study Abroad							
第14回：Technology and You							
第15回：Right and Wrong							
第16回：Your Career Starts Now							
第17回：定期試験							
使用テキスト							
『New Connection<Book2>』 SEIBIDO							
使用言語							
英語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	英語応用			担当講師			
実施期間	後期	学年	1・2年	曜日時限		時間数	60
授業内容と方法							
コミュニケーションツールとして国際社会に必要な英語を習得する。							
到達目標							
(1)大学において必要な英語力を身につける。							
評価基準と評価方法							
(1)定期試験(50%) (2)課題(30%) (3)授業への参加度・積極性(20%)							
授業計画							
第1回：Small Talk 第2回：Reading for Fun 第3回：Dreams and Ambitions 第4回：Amazing Inventions 第5回：The World of Food 第6回：Art and Creativity 第7回：Going for Gold 第8回：Review 第9回：定期試験 第10回：Architectural Wonders 第11回：Loving the Earth 第12回：Expressing Yourself 第13回：Trends and Fads 第14回：Seeing the World 第15回：Therapy and Wellness 第16回：Review 第17回：定期試験							
使用テキスト							
『New Connection<Book3>』 SEIBIDO							
使用言語							
英語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	英語応用			担当講師			
実施期間	後期	学年	1・2年	曜日時限		時間数	80
授業内容と方法							
コミュニケーションツールとして国際社会に必要な英語を習得する。							
到達目標							
(1)大学において必要な英語力を身につける。							
評価基準と評価方法							
(1)定期試験(50%) (2)課題(30%) (3)授業への参加度・積極性(20%)							
授業計画							
第1回：Small Talk 第2回：Reading for Fun 第3回：Dreams and Ambitions 第4回：Amazing Inventions 第5回：The World of Food 第6回：Art and Creativity 第7回：Going for Gold 第8回：Review 第9回：定期試験 第10回：Architectural Wonders 第11回：Loving the Earth 第12回：Expressing Yourself 第13回：Trends and Fads 第14回：Seeing the World 第15回：Therapy and Wellness 第16回：Review 第17回：定期試験							
使用テキスト							
『New Connection<Book3>』 SEIBIDO							
使用言語							
英語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	中上級日本語 I			担当講師			
実施期間	前期	学年	2年	曜日時限		時間数	120
授業内容と方法							
<p>談話レベルの日本語を学ぶ。 また、聴解や作文を通して演習も行う。 授業は講義形式で行われるが、適宜、グループワークや発表などの活動を取り入れる。</p>							
到達目標							
<p>(1)まとまりのある文章を読むことができる。 (2)流れのある会話ができるようになる。</p>							
評価基準と評価方法							
<p>(1)定期試験(50%) (2)課題(30%) (3)授業への参加度・積極性(20%)</p>							
授業計画							
<p>第1回：主題・対象を示す(1) 第2回：主題・対象を示す(2) 第3回：会話表現(誘う・ためらう・説得) 第4回：事柄を並べる(1) 第5回：事柄を並べる(2) 第6回：長文読解 第7回：定期試験 第8回：対象の限定(1) 第9回：対象の限定(2) 第10回：会話表現(苦情・謝る・解決) 第11回：事柄を加える(1) 第12回：事柄を加える(2) 第13回：言い換える・まとめる(1) 第14回：言い換える・まとめる(2) 第15回：会話表現(相談・提案・決定) 第16回：長文読解 第17回：定期試験</p>							
使用テキスト							
『ニューアプローチ 中上級日本語[完成編]』語文研究社							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	日本語講読Ⅲ			担当講師			
実施期間	前期	学年	2年	曜日時限		時間数	120
授業内容と方法							
<p>大学進学に向け、日本留学試験の日本語(読解)対策を行う。</p> <p>授業は講義と演習形式で行われるが、適宜、ペアワークやグループワークを設ける。</p>							
到達目標							
<p>(1)必要な情報を読み取ることができる。</p> <p>(2)文章の流れをつかむことができる。</p>							
評価基準と評価方法							
<p>(1)定期試験(50%)</p> <p>(2)課題(30%)</p> <p>(3)授業への参加度・積極性(20%)</p>							
授業計画							
<p>第1回：一般の文章から情報を探す(5W1Hの情報を探す)①</p> <p>第2回：一般の文章から情報を探す(5W1Hの情報を探す)②</p> <p>第3回：一般の文章から情報を探す(選択肢の内容を判断する)①</p> <p>第4回：一般の文章から情報を探す(選択肢の内容を判断する)②</p> <p>第5回：実用的な文章から情報を探す(1)</p> <p>第6回：実用的な文章から情報を探す(2)</p> <p>第7回：実践問題</p> <p>第8回：定期試験</p> <p>第9回：文章の流れをつかむ(対比)①</p> <p>第10回：文章の流れをつかむ(対比)②</p> <p>第11回：文章の流れをつかむ(原因)①</p> <p>第12回：文章の流れをつかむ(原因)②</p> <p>第13回：文章の流れをつかむ(話題提示)①</p> <p>第14回：文章の流れをつかむ(話題提示)②</p> <p>第15回：文章の流れをつかむ(一般的意見)①</p> <p>第16回：文章の流れをつかむ(一般的意見)②</p> <p>第17回：定期試験</p>							
使用テキスト							
『日本留学試験 完全攻略問題集 読解』語文研究社							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	日本語文章表現基礎			担当講師			
実施期間	前期	学年	2年	曜日時限		時間数	120
授業内容と方法							
<p>練習問題に重点を置き、日本語で書く技術を身につけるための講義・演習を行う。 授業は、グループワークや発表などの活動も取り入れる。</p>							
到達目標							
<p>(1) モードチェンジを習得し、構造的な文を書くことができる。 (2) 文の構成について理解し、文の要点をつかむことができる。 (3) 具体的、客観的に文を書くことができる。</p>							
評価基準と評価方法							
<p>(1) 定期試験(50%) (2) 課題(30%) (3) 授業への参加度・積極性(20%)</p>							
授業計画							
<p>第1回：表記のしかたと文体・モードチェンジ 第2回：文のつながり(1) 第3回：文のつながり(2) 第4回：記述でよく使う表現(1) 第5回：記述でよく使う表現(2) 第6回：叙述文 第7回：定期試験 第8回：段落と段落のつながり(文の序、本論、結び) 第9回：要約文を書く 第10回：具体的・客観的な文の書き方 第11回：事実を示す方法・事実と意見の区別 第12回：意見を述べる文のスタイルと表現 第13回：意見文の書き方 第14回：二つの意見において、一方の立場に立った意見文を書く(学校・教育)① 第15回：二つの意見において、一方の立場に立った意見文を書く(学校・教育)② 第16回：演習フィードバック 第17回：定期試験</p>							
使用テキスト							
<p>『中級日本語学習者対象 小論文への12のステップ』スリーエーネットワーク 『日本留学試験対策 記述問題テーマ100 基礎編』凡人社</p>							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	中上級日本語Ⅱ			担当講師			
実施期間	後期	学年	2年	曜日時限		時間数	120
授業内容と方法							
<p>談話レベルの日本語を学ぶ。 また、聴解や作文を通して演習も行う。 授業は講義形式で行われるが、適宜、グループワークや発表などの活動を取り入れる。</p>							
到達目標							
<p>(1)まとまりのある文章を読むことができる。 (2)流れのある会話ができるようになる。</p>							
評価基準と評価方法							
<p>(1)定期試験(50%) (2)課題(30%) (3)授業への参加度・積極性(20%)</p>							
授業計画							
<p>第1回：事柄を加える(1) 第2回：事柄を加える(2) 第3回：時・場面を示す(1) 第4回：時・場面を示す(2) 第5回：会話表現(指示・訂正・確認) 第6回：因果関係を示す(1) 第7回：因果関係を示す(2) 第8回：長文読解 第9回：定期試験 第10回：逆接のつながりを示す(1) 第11回：逆接のつながりを示す(2) 第12回：会話表現(反省・慰め・励ます) 第13回：条件を示す(1) 第14回：条件を示す(2) 第15回：会話表現(意見・対立・まとめ) 第16回：長文読解 第17回：定期試験</p>							
使用テキスト							
『ニューアプローチ 中上級日本語[完成編]』語文研究社							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	日本語講読Ⅳ			担当講師			
実施期間	後期	学年	2年	曜日時限		時間数	120
授業内容と方法							
<p>大学進学に向け、日本留学試験の日本語(読解)対策を行う。</p> <p>授業は講義と演習形式で行われるが、適宜、ペアワークやグループワークを設ける。</p>							
到達目標							
<p>(1)大意をつかむことができる。</p> <p>(2)情報を整理して考えることができる。</p>							
評価基準と評価方法							
<p>(1)定期試験(50%)</p> <p>(2)課題(30%)</p> <p>(3)授業への参加度・積極性(20%)</p>							
授業計画							
<p>第1回：文章の流れをつかむ(意見・説明)①</p> <p>第2回：文章の流れをつかむ(意見・説明)②</p> <p>第3回：実践問題</p> <p>第4回：キーワードを探す(1)</p> <p>第5回：キーワードを探す(2)</p> <p>第6回：中心文を探す(1)</p> <p>第7回：中心文を探す(2)</p> <p>第8回：キーワードを組み合わせる(1)</p> <p>第9回：キーワードを組み合わせる(2)</p> <p>第10回：実践問題</p> <p>第11回：定期試験</p> <p>第12回：情報を統合する(1)</p> <p>第13回：情報を統合する(2)</p> <p>第14回：推測する(1)</p> <p>第15回：推測する(2)</p> <p>第16回：実践問題</p> <p>第17回：定期試験</p>							
使用テキスト							
『日本留学試験 完全攻略問題集 読解』語文研究社							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	日本語文章表現応用			担当講師			
実施期間	後期	学年	2年	曜日時限		時間数	120
授業内容と方法							
<p>練習問題に重点を置き、日本語で書く技術を身につけるための講義・演習を行う。</p> <p>授業は、グループワークや発表などの活動も取り入れる。</p>							
到達目標							
<p>(1) 自分の立場を示し、意見を述べることができる。</p> <p>(2) 現代社会を踏まえ、未来を予測した文を書くことができる。</p> <p>(3) 意見について理由を考え、解決策を述べることができる。</p>							
評価基準と評価方法							
<p>(1)定期試験(50%)</p> <p>(2)課題(30%)</p> <p>(3)授業への参加度・積極性(20%)</p>							
授業計画							
<p>第1回：現代社会を踏まえ、未来を予測した文を書く(家族・結婚)①</p> <p>第2回：現代社会を踏まえ、未来を予測した文を書く(家族・結婚)②</p> <p>第3回：演習フィードバック</p> <p>第4回：一つの意見について理由を考え、解決策を述べる文を書く(暮らし・生き方)①</p> <p>第5回：一つの意見について理由を考え、解決策を述べる文を書く(暮らし・生き方)②</p> <p>第6回：演習フィードバック</p> <p>第7回：定期試験</p> <p>第8回：仕事・職業(討論・発表)</p> <p>第9回：仕事・職業(演習)</p> <p>第10回：演習フィードバック</p> <p>第11回：文化・異文化・国際化(討論・発表)</p> <p>第12回：文化・異文化・国際化(演習)</p> <p>第13回：演習フィードバック</p> <p>第14回：志望理由の書き方</p> <p>第15回：志望理由の書き方(演習)</p> <p>第16回：演習フィードバック</p> <p>第17回：定期試験</p>							
使用テキスト							
<p>『中級日本語学習者対象 小論文への12のステップ』スリーエーネットワーク</p> <p>『日本留学試験対策 記述問題テーマ100 基礎編』凡人社</p>							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	ビジネス日本語 I			担当講師			
実施期間	前期	学年	2年	曜日時限		時間数	80
授業内容と方法							
日本語を使って適切に行動する能力及び異文化調整能力を養成する。 学生自ら考え、発表する。授業では適宜、会話の練習を取り入れる。							
到達目標							
(1)ビジネスに対する基礎知識を身につける。 (2)敬語表現の適切な使用、ビジネスマナー等を身につける。							
評価基準と評価方法							
(1)定期試験(50%) (2)課題(30%) (3)授業への参加度・積極性(20%)							
授業計画							
第1回：敬語への入口 第2回：自己紹介と挨拶 第3回：敬語を使う理由と敬語の基本 第4回：尊敬語と謙譲語(1) 第5回：尊敬語と謙譲語(2) 第6回：丁寧な言葉 第7回：クッション言葉と過剰敬語 第8回：定期試験 第9回：訪問する・訪問のマナー 第10回：誘う 第11回：お願いする 第12回：断る 第13回：申し出る 第14回：お詫びする 第15回：意見を言う 第16回：スピーチをする 第17回：定期試験							
使用テキスト							
『映像で学ぶビジネス日本語』日本映像教育社 『初級が終わったら始めよう 新にほんご敬語トレーニング』アスク							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	ビジネス日本語 I			担当講師		
実施期間	前期	学年	2年	曜日時限		時間数 96
授業内容と方法						
日本語を使って適切に行動する能力及び異文化調整能力を養成する。 学生自ら考え、発表する。授業では適宜、会話の練習を取り入れる。						
到達目標						
(1)ビジネスに対する基礎知識を身につける。 (2)敬語表現の適切な使用、ビジネスマナー等を身につける。						
評価基準と評価方法						
(1)定期試験(50%) (2)課題(30%) (3)授業への参加度・積極性(20%)						
授業計画						
第1回：敬語への入口 第2回：自己紹介と挨拶 第3回：敬語を使う理由と敬語の基本 第4回：尊敬語と謙譲語(1) 第5回：尊敬語と謙譲語(2) 第6回：丁寧な言葉 第7回：クッション言葉と過剰敬語 第8回：定期試験 第9回：訪問する・訪問のマナー 第10回：誘う 第11回：お願いする 第12回：断る 第13回：申し出る 第14回：お詫びする 第15回：意見を言う 第16回：スピーチをする 第17回：定期試験						
使用テキスト						
『映像で学ぶビジネス日本語』日本映像教育社 『初級が終わったら始めよう 新にほんご敬語トレーニング』アスク						
使用言語						
日本語						

大学進学コース 授業シラバス

科目名	ビジネス日本語Ⅱ			担当講師			
実施期間	後期	学年	2年	曜日時限		時間数	80
授業内容と方法							
日本語を使って適切に行動する能力及び異文化調整能力を養成する。 学生自ら考え、発表する。授業では適宜、会話の練習を取り入れる。							
到達目標							
(1)ビジネスに対する基礎知識を身につける。 (2)敬語表現の適切な使用、ビジネスマナー等を身につける。							
評価基準と評価方法							
(1)定期試験(50%) (2)課題(30%) (3)授業への参加度・積極性(20%)							
授業計画							
第1回：服装とエチケット 第2回：面接を受ける 第3回：電話のマナーとかけ方 第4回：インタビューをする 第5回：報告をする 第6回：司会の敬語 第7回：定期試験 第8回：ビジネス文書の種類と書体 第9回：ビジネス文書の基本書式 第10回：ビジネス文書を書く 第11回：封筒・はがき・Eメールの書き方 第12回：メールの敬語 第13回：Eメールを書く 第14回：よく使う改まった言い方 第15回：会話のスタイル 第16回：会話練習 第17回：定期試験							
使用テキスト							
『映像で学ぶビジネス日本語』日本映像教育社 『初級が終わったら始めよう 新にほんご敬語トレーニング』アスク							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	ビジネス日本語Ⅱ			担当講師			
実施期間	後期	学年	2年	曜日時限		時間数	120
授業内容と方法							
日本語を使って適切に行動する能力及び異文化調整能力を養成する。 学生自ら考え、発表する。授業では適宜、会話の練習を取り入れる。							
到達目標							
(1)ビジネスに対する基礎知識を身につける。 (2)敬語表現の適切な使用、ビジネスマナー等を身につける。							
評価基準と評価方法							
(1)定期試験(50%) (2)課題(30%) (3)授業への参加度・積極性(20%)							
授業計画							
第1回：服装とエチケット 第2回：面接を受ける 第3回：電話のマナーとかけ方 第4回：インタビューをする 第5回：報告をする 第6回：司会の敬語 第7回：定期試験 第8回：ビジネス文書の種類と書体 第9回：ビジネス文書の基本書式 第10回：ビジネス文書を書く 第11回：封筒・はがき・Eメールの書き方 第12回：メールの敬語 第13回：Eメールを書く 第14回：よく使う改まった言い方 第15回：会話のスタイル 第16回：会話練習 第17回：定期試験							
使用テキスト							
『映像で学ぶビジネス日本語』日本映像教育社 『初級が終わったら始めよう 新にほんご敬語トレーニング』アスク							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	日本語文章表現 I			担当講師			
実施期間	前期	学年	1年	曜日時限		時間数	100
授業内容と方法							
<p>大学進学に向け、日本留学試験の日本語(記述)対策を行う。</p> <p>授業は講義と演習形式で行われるが、適宜、議論や発表を設ける。</p>							
到達目標							
<p>(1)モードチェンジを習得し、構造的な文を書くことができる。</p> <p>(2)文の構成について理解する。</p> <p>(3)文の要点をつかんで、短くまとめることができる。</p> <p>(4)具体的、客観的に文を書くことができる。</p>							
評価基準と評価方法							
<p>(1)定期試験(50%)</p> <p>(2)課題(30%)</p> <p>(3)授業への参加度・積極性(20%)</p>							
授業計画							
<p>第1回：表記のしかたと書き言葉の文体(1)</p> <p>第2回：書き言葉の文体(2)</p> <p>第3回：文のつながり(1)</p> <p>第4回：文のつながり(2)</p> <p>第5回：記述でよく使う表現(1)</p> <p>第6回：記述でよく使う表現(2)</p> <p>第7回：叙述文(1)</p> <p>第8回：叙述文(2)</p> <p>第9回：定期試験</p> <p>第10回：段落と段落のつながり(文の序、本論、結び)</p> <p>第11回：要約文を書く</p> <p>第12回：具体的・客観的な文の書き方</p> <p>第13回：説明文を書く</p> <p>第14回：事実を示す方法</p> <p>第15回：事実と意見の区別</p> <p>第16回：意見を述べる文のスタイル</p> <p>第17回：定期試験</p>							
使用テキスト							
<p>『中級日本語学習者対象 小論文への12のステップ』スリーエーネットワーク</p> <p>『日本留学試験対策 記述問題テーマ100 基礎編』凡人社</p>							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	日本語文章表現Ⅱ			担当講師			
実施期間	後期	学年	1年	曜日時限		時間数	120
授業内容と方法							
<p>大学進学に向け、日本留学試験の日本語(記述)対策を行う。</p> <p>授業は講義と演習形式で行われるが、適宜、議論や発表を設ける。</p>							
到達目標							
<p>(1)自分の立場を示し、意見を述べることができる。</p> <p>(2)現代社会を踏まえ、未来を予測した文を書くことができる。</p> <p>(3)意見について理由を考え、解決策を述べることができる。</p>							
評価基準と評価方法							
<p>(1)定期試験(50%)</p> <p>(2)課題(30%)</p> <p>(3)授業への参加度・積極性(20%)</p>							
授業計画							
<p>第1回：意見を述べるときによく使う表現</p> <p>第2回：意見文の書き方</p> <p>第3回：二つの意見において、一方の立場に立った意見文を書く(学校・教育)</p> <p>第4回：演習フィードバック</p> <p>第5回：現代社会を踏まえ、未来を予測した文を書く(家族・結婚)</p> <p>第6回：演習フィードバック</p> <p>第7回：一つの意見について理由を考え、解決策を述べる文を書く(暮らし・生き方)</p> <p>第8回：演習フィードバック</p> <p>第9回：定期試験</p> <p>第10回：より高度な構成と表現</p> <p>第11回：仕事・職業(討論・発表)</p> <p>第12回：仕事・職業(演習)</p> <p>第13回：演習フィードバック</p> <p>第14回：文化・異文化・国際化(討論・発表)</p> <p>第15回：文化・異文化・国際化(演習)</p> <p>第16回：演習フィードバック</p> <p>第17回：定期試験</p>							
使用テキスト							
<p>『日本留学試験対策 記述問題テーマ100 基礎編』凡人社</p> <p>『日本留学試験対策 記述問題テーマ100 完成編』凡人社</p>							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	日本語文章表現Ⅲ			担当講師			
実施期間	前期	学年	2年	曜日時限		時間数	112
授業内容と方法							
<p>大学進学に向け、日本留学試験の日本語(記述)対策を行う。 授業は講義と演習形式で行われるが、適宜、議論や発表を設ける。</p>							
到達目標							
<p>(1)自分の立場を示し、意見を述べることができる。 (2)現代社会を踏まえ、未来を予測した文を書くことができる。 (3)意見について理由を考え、解決策を述べることができる。</p>							
評価基準と評価方法							
<p>(1)定期試験(50%) (2)課題(30%) (3)授業への参加度・積極性(20%)</p>							
授業計画							
<p>第1回：メディア・コミュニケーション(討論・発表) 第2回：メディア・コミュニケーション(演習) 第3回：演習フィードバック 第4回：自然・環境(討論・発表) 第5回：自然・環境(演習) 第6回：演習フィードバック 第7回：定期試験 第8回：医療・健康(討論・発表) 第9回：医療・健康(演習) 第10回：演習フィードバック 第11回：現代社会・日本事情(討論・発表) 第12回：現代社会・日本事情(演習) 第13回：演習フィードバック 第14回：志望理由の書き方 第15回：日本留学試験過去問 第16回：フィードバック 第17回：定期試験</p>							
使用テキスト							
<p>『日本留学試験対策 記述問題テーマ100 完成編』凡人社 『2019年度 日本留学試験(第1回) 試験問題』凡人社</p>							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	日本語文章表現IV			担当講師			
実施期間	後期	学年	2年	曜日時限		時間数	100
授業内容と方法							
<p>大学進学に向け、日本留学試験の日本語(記述)対策を行う。</p> <p>授業は講義と演習形式で行われるが、適宜、議論や発表を設ける。</p>							
到達目標							
(1)大学で学ぶための基礎的な技術を習得する。							
評価基準と評価方法							
(1)定期試験(50%)							
(2)課題(30%)							
(3)授業への参加度・積極性(20%)							
授業計画							
<p>第1回：志望理由の書き方(演習)</p> <p>第2回：志望理由の書き方フィードバック</p> <p>第3回：専門的文献を読む</p> <p>第4回：引用のしかたと剽窃</p> <p>第5回：文献リストの書き方</p> <p>第6回：テーマの選び方(討論・発表)</p> <p>第7回：定期試験</p> <p>第8回：研究計画書でよく使う表現</p> <p>第9回：研究計画書の構成</p> <p>第10回：研究計画書を書く</p> <p>第11回：研究計画書のフィードバック</p> <p>第12回：論文の構成と論文でよく使う表現</p> <p>第13回：論文の序論の書き方</p> <p>第14回：論文の本論の書き方</p> <p>第15回：論文の結論の書き方</p> <p>第16回：まとめ</p> <p>第17回：定期試験</p>							
使用テキスト							
『日本留学試験対策 記述問題テーマ100 完成編』凡人社							
『大学・大学院 留学生の日本語 作文編』アカデミック・ジャパニーズ研究会							
『大学・大学院 留学生の日本語 論文作成編』アカデミック・ジャパニーズ研究会							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	日本語講読 I			担当講師			
実施期間	前期	学年	1 年	曜日時限		時間数	100
授業内容と方法							
<p>大学進学に向け、日本留学試験の日本語(読解)対策を行う。</p> <p>授業は講義と演習形式で行われるが、適宜、ペアワークやグループワークを設ける。</p>							
到達目標							
<p>(1)必要な情報を読み取ることができる。</p> <p>(2)文章の流れをつかむことができる。</p>							
評価基準と評価方法							
<p>(1)定期試験(50%)</p> <p>(2)課題(30%)</p> <p>(3)授業への参加度・積極性(20%)</p>							
授業計画							
<p>第 1 回：一般の文章から情報を探す(5W1H の情報を探す)①</p> <p>第 2 回：一般の文章から情報を探す(5W1H の情報を探す)②</p> <p>第 3 回：一般の文章から情報を探す(選択肢の内容を判断する)①</p> <p>第 4 回：一般の文章から情報を探す(選択肢の内容を判断する)②</p> <p>第 5 回：実用的な文章から情報を探す(1)</p> <p>第 6 回：実用的な文章から情報を探す(2)</p> <p>第 7 回：実践問題</p> <p>第 8 回：定期試験</p> <p>第 9 回：文章の流れをつかむ(対比)①</p> <p>第 10 回：文章の流れをつかむ(対比)②</p> <p>第 11 回：文章の流れをつかむ(原因)①</p> <p>第 12 回：文章の流れをつかむ(原因)②</p> <p>第 13 回：文章の流れをつかむ(話題提示)①</p> <p>第 14 回：文章の流れをつかむ(話題提示)②</p> <p>第 15 回：文章の流れをつかむ(一般的意見)①</p> <p>第 16 回：文章の流れをつかむ(一般的意見)②</p> <p>第 17 回：定期試験</p>							
使用テキスト							
『日本留学試験 完全攻略問題集 読解』語文研究社							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	日本語講読Ⅱ			担当講師			
実施期間	後期	学年	1年	曜日時限		時間数	120
授業内容と方法							
<p>大学進学に向け、日本留学試験の日本語(読解)対策を行う。</p> <p>授業は講義と演習形式で行われるが、適宜、ペアワークやグループワークを設ける。</p>							
到達目標							
<p>(1)大意をつかむことができる。</p> <p>(2)情報を整理して考えることができる。</p>							
評価基準と評価方法							
<p>(1)定期試験(50%)</p> <p>(2)課題(30%)</p> <p>(3)授業への参加度・積極性(20%)</p>							
授業計画							
<p>第1回：文章の流れをつかむ(意見・説明)①</p> <p>第2回：文章の流れをつかむ(意見・説明)②</p> <p>第3回：実践問題</p> <p>第4回：キーワードを探す(1)</p> <p>第5回：キーワードを探す(2)</p> <p>第6回：中心文を探す(1)</p> <p>第7回：中心文を探す(2)</p> <p>第8回：キーワードを組み合わせる(1)</p> <p>第9回：キーワードを組み合わせる(2)</p> <p>第10回：実践問題</p> <p>第11回：定期試験</p> <p>第12回：情報を統合する(1)</p> <p>第13回：情報を統合する(2)</p> <p>第14回：推測する(1)</p> <p>第15回：推測する(2)</p> <p>第16回：実践問題</p> <p>第17回：定期試験</p>							
使用テキスト							
『日本留学試験 完全攻略問題集 読解』語文研究社							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	日本語講読Ⅲ			担当講師			
実施期間	前期	学年	2年	曜日時限		時間数	112
授業内容と方法							
<p>大学進学に向け、日本留学試験の日本語(読解)対策を行う。</p> <p>授業は講義と演習形式で行われるが、適宜、ペアワークやグループワークを設ける。</p>							
到達目標							
<p>(1) 文章や視覚情報などによる情報を理解し、それらの関係を把握する。</p> <p>(2) 基本的な文章構造に関する知識、文章の論理構造に関する知識を身につける。</p>							
評価基準と評価方法							
<p>(1)定期試験(50%)</p> <p>(2)課題(30%)</p> <p>(3)授業への参加度・積極性(20%)</p>							
授業計画							
<p>第1回：日本留学試験過去問</p> <p>第2回：フィードバック</p> <p>第3回：日本留学試験模擬試験</p> <p>第4回：フィードバック</p> <p>第5回：日本留学試験模擬試験</p> <p>第6回：フィードバック</p> <p>第7回：日本留学試験模擬試験</p> <p>第8回：フィードバック</p> <p>第9回：定期試験</p> <p>第10回：言葉の役割(構造)</p> <p>第11回：言葉の役割(文法)</p> <p>第12回：イルカと超音波(構造)</p> <p>第13回：イルカと超音波(文法)</p> <p>第14回：地図の分類(構造)</p> <p>第15回：地図の分類(文法)</p> <p>第16回：読解の手がかり</p> <p>第17回：定期試験</p>							
使用テキスト							
<p>『2019年度 日本留学試験(第1回) 試験問題』 凡人社</p> <p>『日本留学試験 模擬テスト3回分 文系編』 アルク</p> <p>『大学・大学院 留学生の日本語 読解編』 アカデミック・ジャパニーズ研究会</p>							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	日本語講読Ⅳ			担当講師			
実施期間	後期	学年	2年	曜日時限		時間数	100
授業内容と方法							
<p>大学進学に向け、日本留学試験の日本語(読解)対策を行う。</p> <p>授業は講義と演習形式で行われるが、適宜、ペアワークやグループワークを設ける。</p>							
到達目標							
<p>(1)大学で学ぶための基礎的な技術を習得する。</p> <p>(2)論理的な文章を読む力を身につける。</p>							
評価基準と評価方法							
<p>(1)定期試験(50%)</p> <p>(2)課題(30%)</p> <p>(3)授業への参加度・積極性(20%)</p>							
授業計画							
<p>第1回：睡眠時間(構造)</p> <p>第2回：睡眠時間(文法)</p> <p>第3回：日時計(構造)</p> <p>第4回：日時計(文法)・読解の手がかり</p> <p>第5回：研究者の二つのタイプ(構造)</p> <p>第6回：研究者の二つのタイプ(文法)</p> <p>第7回：地球温暖化(構造)</p> <p>第8回：地球温暖化(文法)・読解の手がかり</p> <p>第9回：定期試験</p> <p>第10回：風呂場の戸(構造)</p> <p>第11回：風呂場の戸(文法)</p> <p>第12回：手で数を表す(構造)</p> <p>第13回：手で数を表す(文法)・読解の手がかり</p> <p>第14回：カラスの自動車利用行動</p> <p>第15回：台湾南部の客家社会についての一考察</p> <p>第16回：人間とロボットの協調動作に関する研究</p> <p>第17回：定期試験</p>							
使用テキスト							
『大学・大学院 留学生の日本語 読解編』アカデミック・ジャパニーズ研究会							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	アカデミック日本語 I			担当講師			
実施期間	前期	学年	1年	曜日時限		時間数	100
授業内容と方法							
<p>大学進学に向け、日本留学試験の日本語(聴解・聴読解)対策を行う。 授業は講義と演習形式で行う。</p>							
到達目標							
<p>(1)必要な情報を聞き取り、談話全体から大意を把握することができる。 (2)談話の結論を推測することができる。 (3)資料の中から音声情報と一致する部分を選んだり、適当な資料を探したりすることができる。 (4)話題を推測することができる。</p>							
評価基準と評価方法							
<p>(1)定期試験(70%) (2)授業への参加度・積極性(30%)</p>							
授業計画							
<p>第1回：聴解・聴読解スキルと練習問題 第2回：衣食住 第3回：暮らし 第4回：余暇 第5回：買い物 第6回：ボランティア 第7回：定期試験 第8回：オリエンテーション 第9回：科目登録 第10回：学生課・教務課 第11回：施設利用 第12回：課外活動 第13回：イベント 第14回：就職活動 第15回：日本留学試験過去問 第16回：フィードバック 第17回：定期試験</p>							
使用テキスト							
<p>『日本留学試験 完全攻略問題集 聴解・聴読解』語文研究社 『2019年度 日本留学試験(第1回) 試験問題』凡人社</p>							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	アカデミック日本語Ⅱ			担当講師			
実施期間	後期	学年	1年	曜日時限		時間数	120
授業内容と方法							
<p>大学進学に向け、日本留学試験の日本語(聴解・聴読解)対策を行う。 授業は講義と演習形式で行う。</p>							
到達目標							
<p>(1)必要な情報を聞き取り、談話全体から大意を把握することができる。 (2)談話の結論を推測することができる。 (3)資料の中から音声情報と一致する部分を選んだり、適当な資料を探したりすることができる。 (4)話題を推測することができる。</p>							
評価基準と評価方法							
<p>(1)定期試験(70%) (2)授業への参加度・積極性(30%)</p>							
授業計画							
<p>第1回：人文科学 第2回：社会科学 第3回：自然科学 第4回：体育 第5回：討論・授業の感想 第6回：レポート・論文 第7回：発表 第8回：試験 第9回：定期試験 第10回：フィードバック 第11回：日本留学試験模擬試験 第12回：フィードバック 第13回：日本留学試験模擬試験 第14回：フィードバック 第15回：定期試験 第16回：フィードバック 第17回：問題分析と対策</p>							
使用テキスト							
<p>『日本留学試験 完全攻略問題集 聴解・聴読解』語文研究社 『日本留学試験 模擬テスト3回分 文系編』アルク</p>							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	アカデミック日本語Ⅲ			担当講師			
実施期間	前期	学年	2年	曜日時限		時間数	120
授業内容と方法							
<p>大学進学に向け、日本留学試験の日本語(聴解・聴読解)対策を行う。 授業は講義と演習形式で行う。</p>							
到達目標							
<p>(1)必要な情報を聞き取り、談話全体から大意を把握することができる。 (2)談話の結論を推測することができる。 (3)資料の中から音声情報と一致する部分を選んだり、適当な資料を探したりすることができる。 (4)話題を推測することができる。</p>							
評価基準と評価方法							
<p>(1)定期試験(70%) (2)授業への参加度・積極性(30%)</p>							
授業計画							
<p>第1回：日本留学試験模擬試験 第2回：フィードバック 第3回：日本留学試験模擬試験 第4回：フィードバック 第5回：日本留学試験模擬試験 第6回：フィードバック 第7回：定期試験 第8回：フィードバック 第9回：聴解・内容理解(1) 聴読解・実用(1) 第10回：聴解・内容理解(2) 聴読解・実用(2) 第11回：聴解・内容理解(3) 聴読解・相談(1) 第12回：聴解・ポイント理解(1) 聴読解・相談(2) 第13回：聴解・ポイント理解(2) 聴読解・発表(1) 第14回：聴解・ポイント理解(3) 聴読解・発表(2) 第15回：聴解・その他(1) 聴読解・発表(3) 第16回：定期試験 第17回：フィードバック</p>							
使用テキスト							
<p>『日本留学試験 模擬テスト3回分 文系編』アルク 『日本留学試験 速攻トレーニング 聴解編』アルク 『日本留学試験 速攻トレーニング 聴読解編』アルク</p>							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	アカデミック日本語IV			担当講師			
実施期間	後期	学年	2年	曜日時限		時間数	120
授業内容と方法							
<p>大学進学に向け、日本留学試験の日本語(聴解・聴読解)対策を行う。 授業は講義と演習形式で行う。</p>							
到達目標							
<p>(1)必要な情報を聞き取り、談話全体から大意を把握することができる。 (2)談話の結論を推測することができる。 (3)資料の中から音声情報と一致する部分を選んだり、適当な資料を探したりすることができる。 (4)話題を推測することができる。</p>							
評価基準と評価方法							
<p>(1)定期試験(70%) (2)授業への参加度・積極性(30%)</p>							
授業計画							
<p>第1回：聴解・その他(2) 聴読解・講義(1) 第2回：聴解・その他(3) 聴読解・講義(2) 第3回：聴読解・講義(3) 第4回：聴解・中級(1) 第5回：聴解・中級(2) 第6回：聴解・中級(3) 第7回：定期試験 第8回：フィードバック 第9回：聴解・中上級(1) 第10回：聴解・中上級(2) 第11回：聴解・中上級(3) 第12回：聴解・上級(1) 第13回：聴解・上級(2) 第14回：聴解・上級(3) 第15回：聴解・上級(4) 第16回：定期試験 第17回：フィードバック</p>							
使用テキスト							
<p>『日本留学試験 速攻トレーニング 聴解編』アルク 『日本留学試験 速攻トレーニング 聴読解編』アルク 『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 聴解[中級]』スリーエーネットワーク 『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 聴解[中上級]』スリーエーネットワーク 『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 聴解[上級]』スリーエーネットワーク</p>							
使用言語							
日本語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	総合科目			担当講師			
実施期間	前・後期	学年	1年	曜日時限		時間数	40
授業内容と方法							
<p>大学進学に向け、日本留学試験の総合科目対策を行う。 授業は講義形式で行われるが、適宜、議論や発表を設ける。</p>							
到達目標							
(1)各国の歴史・経済状況を把握し、国際情勢への理解を深める。							
評価基準と評価方法							
<p>(1)定期試験(50%) (2)課題(30%) (3)授業への参加度・積極性(20%)</p>							
授業計画							
<p>第1回：現代の社会生活 第2回：現代の経済 第3回：現代の政治(1) 第4回：現代の政治(2) 第5回：現代の国際社会(1) 第6回：現代の国際社会(2) 第7回：地理的技能と世界の地理的環境(1) 第8回：地理的技能と世界の地理的環境(2) 第9回：定期試験 第10回：日本の国土と人々 第11回：近代の成立と世界の一体化(1) 第12回：近代の成立と世界の一体化(2) 第13回：20世紀の世界と日本(1) 第14回：20世紀の世界と日本(2) 第15回：20世紀の世界と日本(3) 第16回：実力確認模試 第17回：定期試験</p>							
使用テキスト							
<p>『日本留学試験対応 総合科目問題集』図書刊行会 『日本留学試験 実践問題集 総合科目』名校志向塾</p>							
使用言語							
日本語または英語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	理科(物理)			担当講師			
実施期間	前・後期	学年	1年	曜日時限		時間数	20
授業内容と方法							
<p>大学進学に向け、日本留学試験の理科(物理)対策を行う。 授業は講義形式で行われるが、適宜、議論や発表を設ける。</p>							
到達目標							
(1)日本の大学等の理系学部での勉学に必要な理科(物理)の基礎的な学力を身につける。							
評価基準と評価方法							
<p>(1)定期試験(50%) (2)課題(30%) (3)授業への参加度・積極性(20%)</p>							
授業計画							
<p>第1回：出題内容の分析と対策 第2回：力学(1) 第3回：力学(2) 第4回：熱力学(1) 第5回：熱力学(2) 第6回：波動(1) 第7回：波動(2) 第8回：定期試験 第9回：電磁気学(1) 第10回：電磁気学(2) 第11回：原子物理(1) 第12回：原子物理(2) 第13回：模擬試験 第14回：フィードバック 第15回：模擬試験 第16回：フィードバック 第17回：定期試験</p>							
使用テキスト							
<p>『日本留学試験対策問題集 ハイレベル理科 物理・化学・生物』アスク 『日本留学試験 模擬試験 10回分 物理』行知学園</p>							
使用言語							
日本語または英語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	理科(化学)			担当講師			
実施期間	前・後期	学年	1年	曜日時限		時間数	20
授業内容と方法							
<p>大学進学に向け、日本留学試験の理科(化学)対策を行う。 授業は講義形式で行われるが、適宜、議論や発表を設ける。</p>							
到達目標							
(1)日本の大学等の理系学部での勉学に必要な理科(化学)の基礎的な学力を身につける。							
評価基準と評価方法							
<p>(1)定期試験(50%) (2)課題(30%) (3)授業への参加度・積極性(20%)</p>							
授業計画							
<p>第1回：出題内容の分析と対策 第2回：物質の構成 第3回：物質量と化学反応式 第4回：物質と化学結合 第5回：酸と塩基の反応 第6回：酸化還元反応 第7回：物質の状態変化 第8回：定期試験 第9回：溶液 第10回：熱化学方程式と反応熱 第11回：反応速度と化学平衡 第12回：非金属元素とその化合物 第13回：金属元素とその化合物 第14回：脂肪族化合物 第15回：芳香族化合物 第16回：高分子化合物 第17回：定期試験</p>							
使用テキスト							
<p>『日本留学試験対策問題集 ハイレベル理科 物理・化学・生物』アスク 『日本留学試験 模擬試験 10回分 化学』行知学園</p>							
使用言語							
日本語または英語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	理科(生物)			担当講師			
実施期間	前・後期	学年	1年	曜日時限		時間数	20
授業内容と方法							
<p>大学進学に向け、日本留学試験の理科(生物)対策を行う。 授業は講義形式で行われるが、適宜、議論や発表を設ける。</p>							
到達目標							
(1)日本の大学等の理系学部での勉学に必要な理科(生物)の基礎的な学力を身につける。							
評価基準と評価方法							
<p>(1)定期試験(50%) (2)課題(30%) (3)授業への参加度・積極性(20%)</p>							
授業計画							
<p>第1回：出題内容の分析と対策 第2回：生命現象と物質 第3回：代謝とエネルギー(1)同化(光合成) 第4回：代謝とエネルギー(2)異化(呼吸) 第5回：遺伝情報とその発現 第6回：遺伝 第7回：生殖と発生 第8回：定期試験 第9回：生物の体内環境の維持 第10回：生物の環境応答 第11回：生態と環境 第12回：生物の進化と系統 第13回：模擬試験 第14回：フィードバック 第15回：模擬試験 第16回：フィードバック 第17回：定期試験</p>							
使用テキスト							
<p>『日本留学試験対策問題集 ハイレベル理科 物理・化学・生物』アスク 『日本留学試験 模擬試験 10回分 生物』行知学園</p>							
使用言語							
日本語または英語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	数学コース I			担当講師			
実施期間	前・後期	学年	1年	曜日時限		時間数	40
授業内容と方法							
<p>大学進学に向け、日本留学試験の数学コース I 対策を行う。 授業は講義形式で行われるが、適宜、議論や発表を設ける。</p>							
到達目標							
(1)日本の大学等での勉学に必要な数学の基礎的な学力を身につける。							
評価基準と評価方法							
(1)定期試験(50%) (2)課題(30%) (3)授業への参加度・積極性(20%)							
授業計画							
第 1 回：出題内容の分析と対策 第 2 回：数と式(1) 第 3 回：数と式(2) 第 4 回：2 次関数(1) 第 5 回：2 次関数(2) 第 6 回：集合と論理(1) 第 7 回：集合と論理(2) 第 8 回：定期試験 第 9 回：場合の数と確立(1) 第 10 回：場合の数と確立(2) 第 11 回：整数の性質(1) 第 12 回：整数の性質(2) 第 13 回：図形と計量(1) 第 14 回：図形と計量(2) 第 15 回：図形の性質(1) 第 16 回：図形の性質(2) 第 17 回：定期試験							
使用テキスト							
『日本留学試験対策問題集 ハイレベル数学 コース I』アスク 『日本留学試験 速攻トレーニング 数学コース I 編』アルク 『日本留学試験 模擬試験 10 回分 数学コース I』行知学園 『日本留学試験 実践問題集 数学コース I』名校志向塾							
使用言語							
日本語または英語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	数学コース I			担当講師			
実施期間	前・後期	学年	1年	曜日時限		時間数	20
授業内容と方法							
<p>大学進学に向け、日本留学試験の数学コース I 対策を行う。 授業は講義形式で行われるが、適宜、議論や発表を設ける。</p>							
到達目標							
(1)日本の大学等での勉学に必要な数学の基礎的な学力を身につける。							
評価基準と評価方法							
<p>(1)定期試験(50%) (2)課題(30%) (3)授業への参加度・積極性(20%)</p>							
授業計画							
<p>第 1 回：出題内容の分析と対策 第 2 回：数と式(1) 第 3 回：数と式(2) 第 4 回：2 次関数(1) 第 5 回：2 次関数(2) 第 6 回：集合と論理(1) 第 7 回：集合と論理(2) 第 8 回：定期試験 第 9 回：場合の数と確立(1) 第 10 回：場合の数と確立(2) 第 11 回：整数の性質(1) 第 12 回：整数の性質(2) 第 13 回：図形と計量(1) 第 14 回：図形と計量(2) 第 15 回：図形の性質(1) 第 16 回：図形の性質(2) 第 17 回：定期試験</p>							
使用テキスト							
<p>『日本留学試験対策問題集 ハイレベル数学 コース I』アスク 『日本留学試験 速攻トレーニング 数学コース I 編』アルク 『日本留学試験 模擬試験 10 回分 数学コース I』行知学園 『日本留学試験 実践問題集 数学コース I』名校志向塾</p>							
使用言語							
日本語または英語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	数学コースⅡ			担当講師			
実施期間	前・後期	学年	1年	曜日時限		時間数	40
授業内容と方法							
<p>大学進学に向け、日本留学試験の数学コースⅡ対策を行う。 授業は講義形式で行われるが、適宜、議論や発表を設ける。</p>							
到達目標							
(1)日本の大学等での勉学に必要な数学の高度な学力を身につける。							
評価基準と評価方法							
<p>(1)定期試験(50%) (2)課題(30%) (3)授業への参加度・積極性(20%)</p>							
授業計画							
<p>第1回：出題内容の分析と対策 第2回：関数の動きを調べる 第3回：多項式関数 第4回：指数関数・対数関数 第5回：三角関数 第6回：数列と数列の極限 第7回：定期試験 第8回：図形と方程式 第9回：ベクトル 第10回：複素数平面表示 第11回：図形のまとめと応用 第12回：微分法・積分法の手法 第13回：数列の極限と無限級数 第14回：微分法・積分法の応用 第15回：模擬試験 第16回：フィードバック 第17回：定期試験</p>							
使用テキスト							
<p>『日本留学試験対策問題集 ハイレベル数学 コースⅡ』アスク 『日本留学試験 模擬試験 10回分 数学コースⅡ』行知学園 『日本留学試験 実践問題集 数学コースⅡ』名校志向塾</p>							
使用言語							
日本語または英語							

大学進学コース 授業シラバス

科目名	数学コースⅡ			担当講師		
実施期間	前・後期	学年	1年	曜日時限		時間数 20
授業内容と方法						
<p>大学進学に向け、日本留学試験の数学コースⅡ対策を行う。 授業は講義形式で行われるが、適宜、議論や発表を設ける。</p>						
到達目標						
(1)日本の大学等での勉学に必要な数学の高度な学力を身につける。						
評価基準と評価方法						
(1)定期試験(50%) (2)課題(30%) (3)授業への参加度・積極性(20%)						
授業計画						
第1回：出題内容の分析と対策 第2回：関数の動きを調べる 第3回：多項式関数 第4回：指数関数・対数関数 第5回：三角関数 第6回：数列と数列の極限 第7回：定期試験 第8回：図形と方程式 第9回：ベクトル 第10回：複素数平面表示 第11回：図形のまとめと応用 第12回：微分法・積分法の手法 第13回：数列の極限と無限級数 第14回：微分法・積分法の応用 第15回：模擬試験 第16回：フィードバック 第17回：定期試験						
使用テキスト						
『日本留学試験対策問題集 ハイレベル数学 コースⅡ』アスク 『日本留学試験 模擬試験 10回分 数学コースⅡ』行知学園 『日本留学試験 実践問題集 数学コースⅡ』名校志向塾						
使用言語						
日本語または英語						